

パブリックコメント実施結果調書

案件の名称	大泉町立図書館ビジョン（素案）について			
実施担当部署	教育	部	生涯学習課 図書館	課 内線 63-6399
意見等の募集期間	令和2年11月13日から令和2年12月15日			
意見等の受付件数	16件	12人	(郵便 人・FAX1人・E-Mail 人・持参11人)	

1 いただいた「ご意見等」・「町の考え方」の内容

番号	ご意見等の箇所	意見の内容	町の考え方
1	3ページ 第2章 町立図書館に対する利用者の意識	開館・閉館時間がこのままでいいと思います。子供と一緒にいきやすい時間でありがたいです。	図書館の取り組みに対し、ご理解いただきありがとうございます。開館・閉館時間は午前9時開館、午後7時閉館とさせていただいております。今後も、利用者のニーズに沿った図書館運営に努め、本ビジョンに掲げた図書館の将来像実現に向けて取り組んでまいります。
2	6ページ 町民満足度・意識調査について	いつもお世話になっています。我が子を子育て中に町立の図書館には度々通い、利用させていただきました。子どもの夏休み中には、ポスターや粘土などの講座に参加させてもらい、とても楽しかった思い出があります。図書館の講座で教えていただいたことが当時の自分の職務にも大変参考になりました。意識調査の数値がやや辛口なようですが、私は町立図書館には感謝しかありません。私の所にアンケートが来たら「大満足」に一票を投じます。これからも町立図書館のますますの発展を願っています。ごくろう様です。	図書館の取り組みに対し、ご理解いただきありがとうございます。今後も、より多くの方に、満足していただけるような運営を心がけ、本ビジョンに掲げた図書館の将来像実現に向けて取り組んでまいります。

3	7ページ 1 図書館 施設 ○課題	<p>「施設や設備の整備、改修を行う必要がある」の中に、図書館の表玄関と建物(表側)全面に、好感度の持てる明るい装飾を行い、イメージアップを図ると共に、道路側の「鉄格子」のような柵は撤去して、開放的で誰もが気軽に立ち寄れる、入りやすい図書館に改修すべきです。</p> <p>「施設の管理運営については、町立図書館に期待されている役割やサービスにふさわしい方法を調査研究する必要があります」と記載されておりますが、今更、調査研究しなければならない理由については、まったく理解できません。開館されて約30年以上経過されている、町立図書館を教育委員会と町は、この30年間どのような認識と責任で図書館運営をしてきたのか大変疑問であります。町民に対して失礼で意味不明な文書です。</p> <p>町民は、今までの図書館運営が当然当たり前前の、本来の運営であると信じてきたからであります。「町立図書館に期待されている役割やサービスにふさわしい方法」を今・何故、調査研究が必要なのか、調査研究しなければ判断が出来ないのか、町民と関係者に説明と理解を得る必要があります。よって、「町立図書館に期待されている役割やサービスにふさわしい方法を調査研究する必要があります。」を削除して、新たに「町民に期待されている町立図書館を、更に、利用者サービスの向上を図られるよう、施設の充実と受け入れ体制を強化して、日本一素晴らしい図書館を目指して、これからも努力する必要があります。」に訂正することを提案します。</p>	<p>施設改修のご意見は、17ページの「基本目標(2)環境を整備し進化する図書館」における「快適に利用できる環境のための施設運営」の中で、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p> <p>今後も、これまで同様、常に新しい情報の収集、発信を行い、利用者のニーズに伝えていく必要があることから、施設の管理運営については、指定管理者制度など民間活力の導入も含め調査研究が必要と考えております。ご意見箇所の文章につきましては、よりわかりやすい表現となるよう、修正いたします。</p>
4	9ページ 4 レファ レンス サービス ○課題	<p>「職員の知識・能力の向上」は当然のことであり、図書館法では「専門的知識を持った職員の配置」となっております。「司書・司書補の配置は、努力義務」ですが、本町の図書館の弱点の一つである、司書・司書補の有資格者の配置不足を解消する事です。</p> <p>「・・・職員の知識・能力の向上を図り、司書・司書補を最低3人以上配置する。」と具体的な数値目標を明記すべきです。(「専門的職員の配置」で、あいまいにする事なく、司書又は司書補と明文化する必要があります。)</p>	<p>当該箇所は、レファレンスサービスについての課題を記載しております。レファレンスサービスについての目標は、17ページの「快適に利用できる環境のための施設運営」の中に記載のとおりです。より質の高いレファレンスサービスの提供に努めてまいりたいと考えております。</p>
5	10ページ 5 あらゆる 世代に 向けた サービス ○現状	<p>絵本をプレゼントするブックスタート事業がとても素敵だと思います。絵本の種類も違うので、兄弟(姉妹)との本がかぶらず、ありがたいです。</p>	<p>図書館の取り組みに対し、ご理解いただきありがとうございます。今後も、ブックスタート事業をはじめ各種事業について、内容の充実を図り、本ビジョンに掲げた図書館の将来像実現に向けて取り組んでまいります。</p>

6	11ページ 6 高齢者・障害者・外国語を母語とする人へのサービス ○課題	大活字本や展示資料等の収集・・・の必要をあげておりますが、まったくその通りではありませんが、もう一步踏み込んで、今話題になっている、誤読を減らそうと開発された読みやすい字体の「ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)」を活用した本・新聞などを積極的に取り入れ、高齢者・障害者・子どもたちに優しい文字を活用した関係図書館の蔵書の充実を図ることを明記すべきです。	当該ページは、「6 高齢者・障害者・外国語を母語とする人へのサービス」の現状と課題を記載しております。高齢者・障害者・子どもたちに優しい文字を活用した関係図書館の蔵書の充実についてのご意見は、18ページに記載しております「社会的障壁をなくすためのサービスの実施」の中で調査研究してまいります。
7	11ページ 6 高齢者・障害者・外国語を母語とする人へのサービス ○課題	図書館が主催する外国人向けのイベントやセミナー(特に日本語が苦手な方向け)等があると、外国人の方も図書館がどういう物なのか、利用しやすくなると思います。	外国語を母語とする人へのサービスとして、洋書の収集を充実させるとともに、利用を増やす取り組みとして、イベントやセミナーなどの実施を検討してまいります。
8	16ページ 基本目標 (1)将来を見据えた資料の収集と保存を行う図書館	リサイクル本を格安で売るイベントをしてみても？リサイクル本自体を知っている人が少ないです。その売り上げで、また新しい本を購入するのはどうでしょうか？	現在、リサイクル本については、町内の公共施設での再利用や、館内リサイクルコーナーにて配布をしております。今後はホームページ等を活用し情報発信に努めてまいります。いただいたご意見は、リサイクル本有効活用の新たな取り組みの参考とさせていただきます。
9	17ページ 基本目標 (2)環境を整備し進化する図書館	■快適に利用できる環境のための施設運営のなかで、最近ではeスポーツやYou Tubeなどを希望職業とする子供が増えてきている。生涯学習拠点としてそういったものへの対応は検討した方がよい。	eスポーツやYou Tubeなどへの生涯学習拠点としての対応につきましては、希望職業とする人たちの動向や社会情勢の変化を見極めながら調査研究してまいります。
10	17ページ 基本目標 (2)環境を整備し進化する図書館	■快適に利用できる環境のための施設運営のなかで、「資質向上のための専門的な研修に職員・・・」とあるが、町職員が研修を受けても専門家ではないためレファレンスの向上には限界がある。やはり町直営ではレファレンスサービスの充実が難しいので民間委託を早急に検討し実施すべきである。	現在、直営で運営している公立図書館では、自治体職員や会計年度任用職員がレファレンスサービスを行っております。町職員には司書の資格を持った者もおり、その者も含めて専門的な研修に参加することで、より質の高いレファレンスサービスが行えるようになるかと考えております。 また、主な取組の「効果的で効率的な施設の管理運営方法の調査研究」の中で民間委託を含めた管理運営方法について検討してまいります。
11	17ページ 基本目標 (2)環境を整備し進化する図書館	インターネット予約の仕方がわかりにくい。	インターネット予約につきましては、予約手順をホームページ上に掲載するなど、利用される方がより使いやすくなるよう改善してまいります。

12	18ページ 基本目標 (3)誰もが 利用し やすい 図書館、 20 ページ 基本 目標 (5)人 と 人 と の 出 会 い を 広 げ る 図 書 館	基本目標(3)誰もが利用しやすい図書館と、基本目標(5)人と人との出会いを広げる図書館において、利用しやすさと人と人との出会いのためには特にハード面(施設・設備)の充実が必要不可欠であり、現在の図書館では限界がある。そんな中で町民満足度は良い結果となっているが、より良い図書館を求めるならば新庁舎建て替えに合わせて複合の庁舎とし、図書館も併設の方が利便性向上や出会いの広がりもある。	町では図書館の施設や設備に頼るのではなく、サービスを充実させることで解決していきたいと考えております。 基本目標の内容にあるようにあらゆる人が図書館に足を運びやすくする取組や、図書館利用が困難な人の学びを支援する取組、ボランティア等の活動を支援する取組により、誰もが利用しやすい図書館、人と人との出会いを広げる図書館を目指してまいります。
13	19ページ 基本目標 (4)未来 を担う 子 ど も の 読 書 を 支 援 す る 図 書 館	6歳と1歳の子どもがいます。たくさんの本との出会いを持ってほしくて図書館に通っています。6歳の子どもは図書館に着くとお目当ての本を早く探したくて走り出してしまうことがあります。行く前に言い聞かせ、約束させていますが、なかなか守ることができません。下の1歳は、まだ言葉の理解ができず大きな声を出したり、走ったりしてしまいます。子どもたちの声や足音が館内に響き、他の利用者の方に申し訳ないと思っています。 同じように子を持つ友達も「声が響いてしまい、行きにくい」「気まずい」と言っていました。実際に足が遠のいてしまった親子もいます。 これからも細心の注意を払い利用させていただこうと考えていますが、足音については、絵本コーナーの板張り床にクッションマットを敷いて下さると、軽減できるのではないかと思います。図書館が私たち親子や、他の利用者の方々にとっても利用しやすい場所であるよう、ご検討いただきたいと思います。	現在、乳幼児とその保護者につきましては、主に2階絵本コーナーを利用させていただいているところです。絵本コーナーの板張り床につきましては、利用者に木のぬくもりを感じてもらえるようにと設計したものです。いただいたご意見は、乳幼児とその保護者に向けたサービスの実施の参考とさせていただきます。
14	19ページ 基本目標 (4)未来 を担う 子 ど も の 読 書 を 支 援 す る 図 書 館	キッズ用の個室が欲しい。	利用者の目的に合わせた利用しやすいレイアウトについて調査研究してまいります。
15	19ページ 基本目標 (4)未来 を担う 子 ど も の 読 書 を 支 援 す る 図 書 館	2Fの子どもスペースに季節に合わせた本をディスプレイして下さって、毎回楽しみです。このまま続けてくださるといいなと思います。 子ども向け(小学生くらい)のファッション雑誌をおいてほしい。	図書館の取り組みに対し、ご理解をいただきありがとうございます。図書館では季節や年中行事に合わせて、利用者に楽しんでいただけるようディスプレイを工夫しているところです。子ども向けのファッション雑誌についてのご意見は、今後の収集の参考とさせていただきます。
16	20ページ 基本目標 (5)人 と 人 と の 出 会 い を 広 げ る 図 書 館	読み聞かせのイベント等、図書館主催のイベントの時、どうしても親だけでは子どもを静かにさせるのも大変なので、保育士さんがいてくれたりするサービスがあったらもっと参加しやすいです。	子育て中の保護者の図書館利用をサポートするサービスについて調査研究してまいります。

2 いただいたご意見等に基づき、素案を修正した内容

番号	ご意見等の箇所	変更前	変更後	変更した理由
3	7ページ 1 図書館 施設 ○課題	また、施設の管理運営については、町立図書館に期待されている役割やサービスにふさわしい方法を調査研究する必要があります。	また、施設の管理運営については、町立図書館に期待されている役割を踏まえ、更なる利用者サービスの向上が図れるよう民間活力の導入も含め調査研究する必要があります。	よりわかりやすい表現となるよう修正しました。

「パブリックコメント手続」に関するお問い合わせ先

大泉町役場	教育部	生涯学習課	図書館
〒370-0516	住所:大泉町中央三丁目11番21号	大泉町立図書館	1階 窓口
電話:0276-63-6399	(内線→)	ファクシミリ	:0276-63-0717
電子メール: oizumi-l@sunfield.ne.jp			